

女子委員会報告

1. R4 年度大会結果

コロナ禍以降、ほとんどの大会がおおむね予定通り実施され、本県女子選手の活躍の場も戻ってきた。東北高校選手権、東北高校新人大会では盛岡南高校勢が躍動、それぞれ2階級、3階級を制して学校対抗も制覇、本県校が6季連続学校対抗優勝を果たし、女子ボクシング王国岩手健在を示してくれた。全日本女子ジュニア選手権でも盛岡南高校勢が活躍、LF級の金田咲貴さんの銀メダルのほか銅メダル2個を獲得、東北勢で唯一気を吐いた。

一方で、成年女子選手は不在でミニ国体にエントリーできなかった。少年女子選手の競技継続が大きな課題となっている。元持杯女子大会も、昨年に続き県内選手のみの実施に終わり、他県との交流がほとんどできていない。そのためか、今年の高校1年生女子部員が近年最少となり、危機感を持っている。多くの事業を実施し、他県との交流も図りながら活性化していきたいと考え、今年数年ぶりに鳥取での健康ボクシング大会に県女子選抜選手団を派遣した。同様に、群馬県との対抗戦も復活させる予定である。また、関東大学リーグの見学や、女子選手が多く在籍する日本体育大学や自衛隊体育学校への練習参加などを行い、進路選択の一つとしてボクシングに関わる進学や就職も視野に入れてもらえたらと思っている。

R4年度実施事業

事業名	期日	会場
元持杯女子大会開催	R4.7/10(土)～11(日)	都南体育館
第20回健康ボクシング大会参加	R4.11/18(金)～21(月)	米子市民体育館
東北新人前女子合宿	R5.1/7(土),8(日)	盛岡南高校
第5回岩手-群馬女子対抗戦	R5.3/28(火)～30(木)	渋川工業高校

2. R5 年度に向けて

これまで女子事業の中心を担ってきた水沢工業高校で女子部員がほとんどいない状況で、また高校指導者の転勤等も絡むと、これまでのような活動が厳しい状況にある。役員改選期でもあることから、今後の体制を考えていきたい。

現時点では

- ・元持杯女子大会の復活（県外選手も参加可とした形での完全開催）
 - ・ミニ国体へのエントリー
- を活動の2本柱として取り組んでいきたい。



全日本女子ジュニア選手権で旋風を巻き起こした本県選手団